



大分県議会議員 2025年 秋号  
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

# 原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、  
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と  
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

## 佐藤樹一郎知事「物価上昇に負けない、県内企業の継続的な賃上げを後押し！」

### ～2025年大分県議会第3回定例会行われる～

9月4日(木)から24日(水)にかけて大分県議会第3回定例会が開催され、補正額108億3,378万円(累計7,139億2,722万円)の2025年度一般会計補正予算案など32議案が上程されました。

医療提供体制の確保として病床数の適正化に取り組む医療機関を支援する**医療提供体制緊急支援事業**(5億5,059万円)。畜産経営体の収益向上を図る畜産クラスター計画に基づく畜舎等の整備への助成を行う**畜産収益力強化対策事業**(7億600万円)などの新規事業の他、最低賃金改定幅を超える賃金引き上げをした企業への支援拡充、地域の見守りなどに取り組む給油所への施設整備費の助成、県立学校で使用するタブレット端末の更新などの事業が提案されました。

佐藤樹一郎知事は提案理由説明で、補正

に盛り込んだ最低賃金や労務単価の上昇を踏まえた対策について、「物価上昇に負けない継続的な賃上げの実現が求められている。県内企業の賃上げをしっかりと後押しし、県経済の持続的成長につなげていく。」と述べています。

その他、別府市石垣西にある大分県立南石垣支援学校を旧羽室台高校跡地(別府市野田)へ移転し、名称を「大分県立別府やまなみ支援学校」へと変更する条例改正案の提案。また、私たち県民クラブが設置を要請してきた夜間中学を、大分市にある大分県立爽風館高校内に併設し、名称を「大分県立学びヶ丘中学」として新設する条例改正案が提案されました。両校とも来春に開校します。

最終日に、全て可決されました。

## 大分県の経常収支比率 92.3%!

一部の自治体で著しい財政悪化が起きたときに、従前の制度では事態が深刻化するまで状況が明らかにならないという問題が判明しました。それをきっかけに、2009年4月、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(「健全化法」)が全面施行されました。

今定例会では、この健全化法に基づく指標の算定が報告され承認されました。報告によると、財政規模に占める借金にあたる公債費等の比率である実質公債費比率、将来の負担すべき負債比率である将来負担比率ともほぼ全国平均の水準です。

また、私が一番注目している経常収支比率。これは財政構造の弾力性を測定する指標で、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示すものです。昨年度の大分県の財政の経常収支比率は92.3%で、一昨年度に比べ0.2%上昇しているものの、これも全国平均の水準となっています。ちなみに、私の地元である別府市の経常収支比率は97.4%(前年度比+0.3%)となっています。

大分県の財政状況として、概ね健全状態であると考えますが、これからも注視していきます。

### 折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。  
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

2025年 第3回

# 定例会報告

毎年の第1回定例会と第3回定例会では代表質問が行われますが、県民クラブでは所属議員みんなで質問項目を検討し、分担して質問原稿を作成しています。

今回、成迫健児議員（佐伯市選出・右写真）が代表質問に登壇しました。代表質問から、3項目を紹介します。



## 米の生産振興について

昨年からこれまで安定供給されてきた米が、突然、品不足になり、店頭での米価格が5kgで4千円を上回る状況になりました。政府は備蓄米の放出等も行いましたが、安心して購入できるようになるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。

米の生産について、大分県は園芸作物と比較して面積あたりの収益性が低いことから、水田の畑地化・汎用化を進め、収益性の高い園芸品目への転換に重点を置いてきました。

主食としての米の位置づけは重要です。本県での米作りの現状、米の生産振興にどのように取り組んでいくのでしょうか。



**【答弁】** 米価格の高騰について、国はインバウンド需要等による消費量の拡大や、高温障害に伴う精米歩留まりの低下を考慮せず需要見通しを示したことで、需要量に対して生産量が不足したことが要因と分析している。

米の安定供給に向け、大分県では農地の集積・集約化や基盤整備による大区画化のほか、スマート農業技術の導入等を推進し、生産コストの低減を図っている。県として意欲ある中核的経営体の規模拡大など、水田をフル活用した持続的な地域農業の実現に取り組んでいきたい。

## 県立高校入試の複数校志願制度について

少子化が進む中、「高等学校等就学支援金制度」の拡充により、来年度からは公立・私立高校ともに授業料が実質無償化されます。

そのような中、7月に県教委は来年度の高校入試から「複数校志願制度」を導入することを発表しました。突然の入試制度の変更の発表により、中学3年生をはじめ多くの生徒や保護者、学校関係者の動揺が広がったことを県教委はどのようにお考えでしょうか。

**【答弁】** 来年度から私立高校の授業料無償化に伴い、地域の県立高校の定員確保の対応は急務である。

今回導入する制度は、一次入試における学力検査の成績を第二志願の選抜にも利用するため、受験生の負担軽減が図られ、入学考査料や入試事務の点でも保護者や高校にとってもメリットとなる。従来二次入試に代えて実施するものであり、受験生の負担が生じることはない判断し、来年度入試からの導入を決定した。

## 自転車運転の「青切符」導入について

青切符は、現認・明白な道路交通法違反について、警察本部長の通告を受けて反則金を納付した場合は公訴されない制度です。

これまで自転車を含む軽車両はこの対象外とされていましたが、昨年成立した改正道路交通法により青切符による取り締まりが来年4月から導入されることになりました注1。

この法改正の周知啓発が充分ではないと思えるのですが、県警の見解をお尋ねします。

**【答弁】** 全国的に自転車に関連する交通事故が増加し、特に自転車対歩行者の事故が増加傾向にあり、実効性のある指導取り締まりを推進し、自転車に関する交通安全を実現するため本制度は導入された。

県警では、自転車利用時の正しいルールを学ぶためのコンテンツをホームページに開設した。教育委員会と連携して学校現場で周知を進めるなど、広く県民に周知していくよう取り組んでいる。

注1 主な反則金の額は、携帯電話を使用しながら運転する「ながら運転」が1万2,000円、信号無視が6,000円、逆走や歩道通行などの通行区分違反は6,000円、並んで走行する並進禁止違反が3,000円となっています。



私のHPIにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

大分県議会議員 原田たかし

検索

<https://harada-oitakengi.com/>



## 大分県内の最低賃金 1,035円に!

佐藤樹一郎知事の知事提案理由説明でも取り上げられましたが、9月4日(木)、大分地方最低賃金審議会は、2025年度の大分県内の最低賃金(時給)を現行から81円(8.49%)引き上げ、1,035円とするよう大分労働局長に答申しました。

時給で示すようになった2002年度以降、最大の上げ幅となり、初めて1,000円を超えました。物価高騰などを踏まえ、企業の準備期間などを考慮し、2026年1月1日からの適用を予定しています。

これは、国の審議会が示した引き上げの目安額(64円)より17円高く、都道府県別では熊本に次ぐ2番目の上乘せ額です。



以前の県議会常任委員会での話です…

2009年、民主党が衆院選のマニフェストに「全国平均で最低賃金1,000円をめざす」と掲げ政権に就きました。その数年後の県議会の常任委員会で、ある保守系の県議が「最低賃金が1,000円などありえない、企業の経営がもたない。」と発言。私は「物価上昇に合わせた賃上げは必要不可欠であり、その支援こそが行政の役割ではないか。」と反論しました。

昨年度、全国平均で1,000円を超え、今年度、大分県もついに達しました。現在、政府が2020年代に全国平均で1,500円とするという目標を掲げ、私は時代の流れを感じています。

事業者にとっては、人件費の負担が一段と増すのは事実です。賃上げの原資を確保するため経費の上昇分を商品やサービスの価格に転嫁することも含めて、行政として事業者の賃上げと人手不足対策への支援を拡充していくことが求められています。

## お待たせしました いよいよホーバークラフト就航

7月26日(土)、大分空港へのアクセス向上のため西大分と大分空港を結ぶホーバークラフトが定期就航しました。大分市～空港を最短約30分で結び、ホーバーの定期路線はアジアで唯一となります。16年ぶりとなるホーバークラフトの就航ですが、当初の計画では2024年春だった就航予定が、相次ぐ事故などにより遅れていました。

定期便の就航からまもなく3ヶ月となりますが、今定例会の総務企画委員会でその利用状況が報告されました。

企画振興部の報告によると、別府湾周遊便は9割の搭乗率で推移しているものの、肝心の定期便の搭乗率はおよそ3割で推移しているとのことでした。



### 原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

### 定期便の搭乗率はおよそ3割で推移

一方で、県がホーバークラフトの利用者およそ1,500人に対し実施したアンケートの結果9割以上が「満足」「やや満足」と回答したということですが、利用者からは「往復利用できるように増便してほしい」などの声が寄せられているということです。

私は、3割の利用率というのはやっぱり低いのではないかと思います、それについてどう考えているのかを質問しました。

担当課長の答弁では、「公共交通機関としての安全・安定をまずは最優先にしながら、次の段階に移行すると聞いている。今後、運営事業者が搭乗率の向上に向けて考えていくものだと考えている。」とのことでした。



TOSニュースで、委員会で質問した様子が報道されました

私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

大分県議会 県民クラブ

検索

<https://kenmin-club.com/>





## 原田たかし活動報告

### 猛暑日が続いた今夏...

### 地球温暖化防止は緊急の課題です

今年の夏も、本当に厳しい暑さが続きました。9月になってもその暑さは衰えず、ちゃんと秋が来るのだろうか不安になります。

このように猛暑日が続く夏はいつ頃からでしょうか？調べてみると、猛暑日には明確な規定がされており、気象庁では最高気温が35℃以上になれば「猛暑日」、30℃以上35℃未満であれば「真夏日」というそうです。

しかしながら、この「猛暑日」という言葉は2007年まで気象庁が用いる予報用語には存在していなかったとのこと。それが2007年の予報用語改正により、「猛暑日」と「熱中症」が新たに追加されたそうです。



この夏、原田たかし事務所の前にヒマワリと朝顔の鉢を置いていたのですが、1日に1度の水やりでは足らず、2度、3度と水やりをしなくてはなりません。しかも、水やりのために水道の蛇口をひねると、しばらくの間、熱湯が出ていました。来年、ヒマワリと朝顔は底面給水の鉢に植えようと考えています。

地球温暖化が進むと、気温と海水温の上昇、海面水位の上昇、異常気象の増加、生態系の崩壊、食料や水資源の不足、健康リスクの増大、移住を余儀なくされる人々の増加など、地球規模で重大な影響が現れます。

年に数回、仲間とともに県内各所で「ストップ!地球温暖化」パネルスタンディング行動を行っています。地球温暖化防止は、世界的な取り組みが必要だと考えています。

2025年9月16日撮影



## 夜間中学が併設される

### 大分県立爽風館高校を訪問

大分県立爽風館高校は、通信制の碩信高校、定時制の大分中央高校、別府鶴見丘高校定時制を発展的に統合し、独立単位制高校として2010年春に大分市上野丘に開校しました。

9月8日(月)、県民クラブで学校を訪問し、校長先生をはじめ職員の方々にお話をお聞きしました。



爽風館高校には定時制(生徒数438名)と通信制(生徒数1,214名)が設置されています。

定時制と言うと、苦学生が働きながら夜に学んでいる姿をイメージする方も多いと思いますが、現在は様々な状況の子が朝のⅠ部、昼のⅡ部、夜のⅢ部で自分の生活スタイルに合った時間で学んでいるとのことでした。もちろんバイト等をしながら学んでいる生徒もいます。

驚いたのは、通信制の生徒が1,000名を超えていること。石井校長先生のお話によると、全国でも通信制高校に通う生徒が増えているそうです。後で調べてみると、全国統計では9.1%が通信制高校の生徒で、全日制高校の生徒数が減少している中、通信制高校の生徒数は増加し続けていることがわかりました。ちなみに、茨城県では34%の生徒が通信制高校で学んでいる(2024年度統計より)とのことでした。

通信制高校の生徒数が増加している理由として、一番に上げられるのは不登校生徒の増加でしょうが、学習ニーズの多様化や時間の自由度などもあるようです。



「本校定時制・通信制のシステムや校風が、全日制高校になじまない多くの生徒を救っていると考えています。」と校長先生は言われてい

ました。

夜間中学が来春「大分県立学びヶ丘中学」として爽風館高校内に併設されることに関しては、どのように施設を使うかなどの協議が両校及び県教委とで続いているそうです。